

時代をみつめ 意識の向上を

～未来を担う子どもたちのために～

大分県PTA



発行所
大分市下郡字長谷496の38
大分県教育会館2F
大分県PTA連合会
☎(097)556-9055
http://www.oita-pta.com/
責任者 池内晴一
印刷所 大分市金法町5丁目7番18号
大分県出版印刷

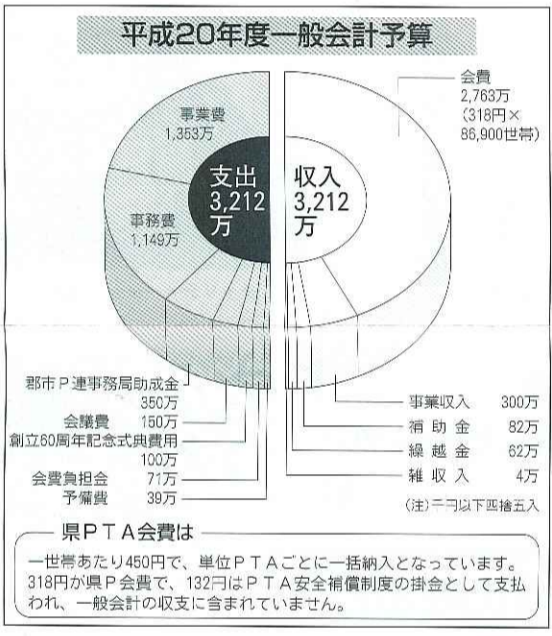


創立60周年を迎え熱心に話し合う出席者

大分県PTA連合会 平成20年度 第60回 定期総会

平成20年度大分県PTA連合会定期総会が6月6日、広瀬勝貞大分県知事（代理二日市市長正原務部長）をはじめとする多数の来賓を迎え、県下16郡市等P連の代議員と被表彰者を含む約130人が出席して県教育会館で開催された。

今こそ PTAの力を
はじめに、藤田千克由県P連会長は「IT社会の発達で子どもたちを取りまく環境は大きく揺れている。今こそPTAの果たす役割が重要になる。60周年の節目を迎え、より単Pに近い県P連をめざすとともに、子育ての基盤は家庭にあることを認識し、子どもたちの成長を支援するPTA活動の在り方を考えていかなければならない」とあいさつした。広瀬勝貞県知事（代理二日市市長正原務部長）をはじめ、市正原務部長、小矢文阿部英仁県議会議長、小矢文則県教育長、高橋正夫高P連会長の祝辞があった。



就任した池内新会長

平成20年度の役員紹介

会長	池内 晴一	竹田 市
副会長	後藤 智	別府 市
後藤 定	白 柁	市
梅田 一	弘 佐	市
河野 美	幸 白	柁 市
手島 光	徳 教	師代表小
雨川 寛	昭 教	師代表中

役員改選について選考委員より、その過程が報告され、池内晴一新会長に決定したことを発表した。副会長、理事も決定し、新体制が誕生した。新役員を代表して池内新会長は「良い組織にするためには建設的、前向きな意見が必要。いろいろな意見を聴いて全力投球したい」と語った。旧役員を代表して、藤田会長が「2年間県P連会長を務めた。皆さんの意見を一つにまとめるには人を好きになる力が必要である。その力を

気持ち新たにスタート

役員改選について選考委員より、その過程が報告され、池内晴一新会長に決定したことを発表した。副会長、理事も決定し、新体制が誕生した。新役員を代表して池内新会長は「良い組織にするためには建設的、前向きな意見が必要。いろいろな意見を聴いて全力投球したい」と語った。旧役員を代表して、藤田会長が「2年間県P連会長を務めた。皆さんの意見を一つにまとめるには人を好きになる力が必要である。その力を

画案、収支予算案が出され、いずれも可決承認された。今年60周年を迎えるにあたり「手を携えて育てよう」「地域の宝」が光り輝くために「子どもが輝くPTA活動を目標として」を年間スローガンに掲げ、会員の力を一つに結集し、さらに前進することを宣言した。

理事

松田 政隆	中津 市
甲斐 浩二	豊後高田市
永松 郁	宇佐 市
諸富 正徳	杵築 市
藤内 浩	日出 町
清廣 和彦	国東市姫島村
富永 大輔	大分 市
中野 恭次	津久見 市
指原 俊二	由布 市
川原 弘幸	竹田 市
小倉 良勝	豊後大野市

顧問

藤田千克由	大分 市
利根三喜生	大分 市

相談役

松田 謙仁	日田 市
田坂 美紀	別府 市
河野真理子	大分 市
松本 雅恵	中津 市
今村 昭道	大分 市
矢野 貞秀	佐伯市(T)

- #### 平成20年度の主な事業
- 第56回日本PTA全国研究大会 かがわ讃岐路大会 8月23日(出)・24日(回)
 - 第53回九州ブロックPTA研究大会 鹿児島大会 11月1日(出)・2日(回)
 - 県PTA指定研究発表会 平成19・20年度 11月15日(出)
 - 佐伯市立鶴岡小学校P 11月23日(回)
 - 豊後高田市立田染小学校P 11月23日(回)
 - 大分市立城南中学校P 12月6日(出)
 - 平成20・21年度 玖珠町立北山田小学校P
 - 大分市立下郡小学校P
 - 津久見市立第二中学校P
 - 第17回県PTA研究大会 竹田地区大会 平成21年1月24日(出)

研心北

陸上競技種目にリレーがある。昔は継走といわれた。バトンタッチの成否がいのちである。前者は速度を落とさず後者へバトンの受け渡しをしなければならぬ。しかもゾーンという制約内。目測と阿吽の瞬時の技である。何百回練習しても完璧という保証はない。私たちの生活の中で、このバトンタッチ「継走」という行為がいろいろ場面面で正確にできていないように思う。▼「お父さんも息子もよく挨拶する」「お母さんも娘もいつもニコニコ顔だ」という家庭は、きっと家中で「おはよう・ありがとう・只今・ハイ」等の挨拶が、きちっとできているはず。おじいさん、おばあさんも、きっとそうであったと思う。家の中で出来なくて、どうして外で出来ていくのか。▼昔は毎朝の家風があった。学校には校風、会社には社風があった。校風、社風は受け継がれてこそ愛情が生まれ誇りや伝統となる。これらは何も対策とか研究調査結果で出来るものではなく日常の小さなやりとりの累積の上に成り立つ。人を思い自分を大切にすための行為である。▼三代同居の家庭生活は、少数派になった。働く親に代わって孫の見守りや留守役だった祖母の再登板と重用を私たちは考え直す必要がある。はい、はいか▼敬老の日だけのプレゼントだけでなく逆に祖父母の愛情や教えを受けることも大切だと思ふ。先代や先輩、地域の先人たちの築いたものや知恵や気風のバトンをしっかりと継いで欲しいと願っている。ゾーンという規則はみ出さないで——これは、P・T・A会員みんなの共通の願いでもあるはずと思ふ。

子どもたちの笑顔を増やそう！ 「たくましい つくみっ子へ」

津久見市連合PTAは、小規模校が大部分を占める10単位PTAで組織されています。会員数は1360名と少人数ですが、それを利点にかえ、役員同士が意思疎通をはかり、中学校区別分科会を設けた「指導者研修会」では、小

行事を通じて交流

中の連携をより深めることができました。

主な行事として、「球技大会」「市長との懇談会」「地教委との懇談会」秋には、津久見市の小・中学校の教育課題について、市長や教育委員会職員・保護者・教職員・地域住民が一堂に会し、将来を担う子どもたちの幸せを願い議論できる場を設定する。事を目的に「津久見市学校教育フォーラム」を開催しています。「小・中学校の適正規模とは？」「学校給食のあり方」「津久見高校の将来」「津久見らしさって何？」等をテーマにパネルディスカッションやグループ討議を取り入れ、出



る幼稚園の先生が「子どもがどうしてもご飯粒を食べないんです。家庭でしっかり食べさせて欲しい」といわゆる子どもの食について悲鳴をあげていると感じ、今母親こそが食や生活習慣について勉強していかなければならないと強く思いました。

食育から子育てを振り返り「心豊かな 玖珠っ子を」

幼稚園、小・中学校、高校に配布、玖珠町立森中学校での「弁当の日」の実施。

原点を大切に

食育講演会の中で講師の香川高松市国分寺中学校校長竹下和男先生が「母性はすでに持っているものではなく子どもに母乳を与えたり、おむつを換えることで生まれるもの、親が自分でどれだけ手間暇をかけているかで自分だけ手打ちがあるかどうか子どもは考えている」という言葉を思い出すと、私たちはもう一度子育てについて振り返らなければならぬと強く感じます。



熱心に聞き入る参加者たち

学校給食専門委員会、あ



さまざまな立場の参加者



チャリティーショー出演

4つの取り組み

本年度は運営組織を見直し専門部の強化、会員との一体感を図りながら「笑顔増大計画」として次の4つに取り組みます。

- ① 防犯および交通事故防止
- ② 大きな声での「あいさつ」運動展開③読書習慣の推進④本音の会話をしよう。

津久見市連合PTA 事務局長 石井 千香



おいしいお弁当

活で心豊かな玖珠っ子を育てていこうと確かめ合い、また単Pにもどりたくさんの母親たちに伝えていきたいと思っています。

玖珠郡 PTA連合会 母親代表 甲斐 朱美

さあ来い！リスク。

安心のゴールキーパーでありたい。 リスクとトータルに取る総合保険ブランド[GK]

【クルマの保険】【住まいの保険】【からだの保険】【生命の保険】



三井住友海上グループ MSIG

三井住友海上火災保険株式会社

〒104-8252 東京都中央区新川 2-27-2

www.ms-ins.com



「組織の可能性」を演題に

6月27日(金)、県P連幹部研修会が大分市コンパルホールで開催された。

来賓として、郷家康徳県生涯学習課長、多田千栄社会教育主事を迎え、県下16郡市等の県P理事、母親代表、事務局長の54名が出席した。



講演を聞く県P連幹部

本会は年に1回開催され、各郡市の幹部が今日的な活動の諸問題について研修を深め県P連活動のより一層の充実を目的としている。

会議は理事会・母親部会・事務局長会の後、全体研修会が行われた。

平成20年度 幹部研修会 県P連活動のより一層の充実をめざして

反抗期 どう接したらいいの？

豊かさのなかで「思いやり育」を

Q 自分の好きな物が手に入りやすい、豊かな時代に育っている子どもたちの心がどう育っているのか心配です。普通の若者が引き起こす最近の信じられない事件を知るたびにこのままでいいのか、不安でなりません。

「思いやり」が必要と考えられる場面「学校に行く道で前を行く人が急に倒れた」などを想定し、それにどんな行動をとるか意識調査結果、日本の中・高生は5段階評価で「2」という結果ということでした。物の豊かさ、子どもの「こころ育」の点を考えてみたいと思います。

次号につづく

みなで考えるコーナー 室長 岩尾 淳一

合同研修会では、前県P連会長であり、県P連顧問の藤田千克由氏が自らの経験から具体的な実例をあげ、これからの県P連が発展していくにはどうしたら良いかを提言し「人間」というものは、多面体である。色々な角度から人を見て話をし、自分との接点を深しながら、相手の価値観を認め、自分の価値観を理解してもらおうことが大事。10人いたら全員が同じ目標を掲げて走り出し、走る距離は違っても、どれだけ一緒に走れるかで活動をする上での強さが生まれる」と組織力向上の秘訣を交え、講演した。

編集後記 地球温暖化防止のために何かしていませんか？「特売日 今日は大さげマイバッグ」手を書くことの大切さを感じることが出来ました。

大分県PTA連合会のホームページ

ホームページは、県P連の情報を随時更新しています。「はぐく美」のバックナンバーもダウンロードできます。ぜひご覧になってください。

※県P連ホームページアドレス <http://www.oita-pta.com/>